

2020年11月 紙・板紙需給速報

<単月>

		生産		出荷計				在庫		(参考)輸入	
		前年比	前年比	国内出荷		輸出	前年比	前月比 増減			
				前年比	前年比						
11月	紙・板紙計	2,000	▲4.1	2,019	▲5.5	1,857	▲8.2	162	+42.2	2,008	▲20
	紙計	949	▲11.5	988	▲11.1	922	▲11.8	66	+0.1	1,233	▲39
	新聞用紙	173	▲4.8	171	▲12.9	171	▲12.9			187	+2
	印刷・情報用紙	499	▲16.7	534	▲14.9	495	▲15.3	39	▲9.7	749	▲35
	非塗工紙	132	▲12.4	139	▲12.5	132	▲13.2	8	+1.0	225	▲8
	塗工紙	270	▲20.3	299	▲16.3	271	▲16.5	28	▲14.6	382	▲29
	情報用紙	97	▲11.5	95	▲13.7	93	▲14.5	3	+30.4	142	+2
	包装用紙	63	▲13.9	67	▲6.9	49	▲15.9	18	+31.3	103	▲5
	衛生用紙	155	+1.0	155	+6.5	155	+6.4	0	+60.7	90	▲1
	板紙計	1,050	+3.7	1,031	+0.5	935	▲4.3	96	+100.1	775	+19
	段ボール原紙	873	+7.0	857	+3.1	763	▲2.9	94	+105.6	538	+16
	白板紙	115	▲11.4	113	▲10.7	111	▲10.8	2	▲8.3	155	+2
	グラフィック用紙	672	▲13.9	705	▲14.4	666	▲14.7	39	▲9.7	937	▲33
	パッケージング用紙	1,173	+1.9	1,159	▲0.7	1,036	▲5.5	123	+73.6	982	+14

<累計>

(参考)	紙・板紙計	20,954	▲10.3	21,047	▲8.7	19,527	▲10.5	1,520	+23.1	2,008	▲20
	紙計	10,276	▲17.4	10,433	▲15.0	9,753	▲15.0	679	▲14.9	1,233	▲39
	新聞用紙	1,879	▲15.2	1,914	▲13.2	1,914	▲13.2			187	+2
	印刷・情報用紙	5,388	▲22.3	5,499	▲19.5	5,080	▲19.7	419	▲17.4	749	▲35
	非塗工紙	1,439	▲18.2	1,476	▲15.9	1,396	▲15.5	80	▲22.1	225	▲8
	塗工紙	2,924	▲24.6	2,954	▲22.6	2,640	▲23.3	314	▲16.4	382	▲29
	情報用紙	1,025	▲20.9	1,069	▲15.2	1,045	▲15.3	25	▲12.1	142	+2
	包装用紙	693	▲16.6	720	▲10.6	551	▲14.4	169	+4.1	103	▲5
	衛生用紙	1,688	+0.5	1,663	▲0.5	1,662	▲0.5	1	+93.2	90	▲1
	板紙計	10,679	▲2.2	10,615	▲1.6	9,774	▲5.6	841	+92.7	775	+19
	段ボール原紙	8,880	+0.2	8,802	+0.6	7,989	▲4.2	813	+97.5	538	+16
	白板紙	1,161	▲13.6	1,171	▲11.0	1,144	▲11.5	27	+15.0	155	+2
	グラフィック用紙	7,267	▲20.6	7,413	▲18.0	6,995	▲18.0	419	▲17.4	937	▲33
	パッケージング用紙	11,999	▲4.2	11,971	▲3.1	10,871	▲6.5	1,100	+51.2	982	+14

(注)1. 国内工場の生産高・出荷高・在庫高による。

2. 紙計は「その他の紙」、板紙計は「白板紙以外の紙器用板紙」、「その他の板紙」を含む。

3. 在庫の前月比増減は数量(千トン)表示。

4. 輸入は10月実績。

問い合わせ先: 日本製紙連合会 紙・板紙部(03-3248-4803)

[概況]

- 紙・板紙の国内出荷は前年同月比8.2%減、16ヶ月連続の減少。グラフィック用紙は14.7%減、48ヶ月連続の減少。パッケージング用紙は5.5%減、14ヶ月連続の減少。衛生用紙は6.4%増、7ヶ月ぶりの増加。主要品種は衛生用紙を除き減少。
- 紙・板紙の輸出は前年同月比42.2%増、11ヶ月連続の増加。グラフィック用紙は9.7%減、8ヶ月連続の減少。パッケージング用紙は73.6%増、12ヶ月連続の増加。グラフィック用紙は塗工紙が東南アジア、南アジア向けで減少。パッケージング用紙は段ボール原紙を中心に東アジア、東南アジア向けが増加。
- 紙・板紙の在庫は前月比20千トン減、2ヶ月連続の減少。グラフィック用紙は33千トン減、3ヶ月連続の減少。塗工紙を中心に印刷用紙が減少。パッケージング用紙は14千トン増、6ヶ月ぶりの増加。段ボール原紙が増加。衛生用紙は1千トン減、2ヶ月連続の減少。

[主要品種]

- 新聞用紙の国内出荷は前年同月比12.9%減、37ヶ月連続の減少。
- 印刷・情報用紙の国内出荷は前年同月比15.3%減、16ヶ月連続の減少。非塗工紙、塗工紙、情報用紙とも減少。輸出は9.7%減、8ヶ月連続の減少。
- 包装用紙の国内出荷は前年同月比15.9%減、20ヶ月連続の減少。未晒、晒とも減少。輸出は31.3%増、3ヶ月連続の増加。
- 段ボール原紙の国内出荷は前年同月比2.9%減、14ヶ月連続の減少。輸出は105.6%増、12ヶ月連続の増加。
- 白板紙の国内出荷は前年同月比10.8%減、16ヶ月連続の減少。高板、特板、コート白とも減少。
- 衛生用紙の国内出荷は前年同月比6.4%増、7ヶ月ぶりの増加。トイレットペーパー、ティッシュペーパー、タオル用紙とも増加。

2020年11月パルプ速報

問い合わせ先 : 原材料部 (03-3248-4805~6)

(単位:千トン、%)

品種	生産	自家用		販売	在庫	(10月)			
		前年比	前年比			前年比	前年比		
N-BKP	76	▲ 7.1	67	▲ 7.6	15	+ 34.0	38	▲ 12.2	+ 7.9
L-BKP	375	▲ 16.1	365	▲ 11.2	39	▲ 3.5	81	▲ 25.9	+ 1.4
BKP計	451	▲ 14.7	432	▲ 10.6	53	+ 4.5	119	▲ 22.0	+ 3.4
UKP	74	▲ 8.7	56	▲ 2.4	21	▲ 9.9	21	▲ 12.7	▲ 2.4
機械パルプ	37	▲ 6.0	36	▲ 4.9	—	—	3	+ 15.6	▲ 4.4
製紙パルプ計	564	▲ 13.4	526	▲ 9.4	76	+ 0.2	147	▲ 20.5	+ 3.0

累計

N-BKP	842	▲ 13.9	707	▲ 16.4	129	+ 5.0	—	—	—
L-BKP	4,345	▲ 19.1	3,917	▲ 19.4	413	▲ 17.9	—	—	—
BKP計	5,186	▲ 18.3	4,624	▲ 19.0	542	▲ 13.4	—	—	—
UKP	856	▲ 3.9	631	▲ 7.7	227	+ 6.3	—	—	—
機械パルプ	395	▲ 16.6	394	▲ 16.7	—	—	—	—	—
製紙パルプ計	6,466	▲ 16.5	5,661	▲ 17.7	787	▲ 8.4	—	—	—

※製紙パルプ計には、上記品種以外を含む。

※販売には輸出を含む。

(10月)

輸入	前年比
74	+ 2.4
36	+ 6.4
110	+ 3.7
1	▲ 46.1
4	▲ 39.5
117	▲ 2.3

[11月の概況]

・製紙パルプの生産は564千トンで前年比13.4%減、16ヶ月連続の減少。品種別には、BKPは14.7%減、15ヶ月連続の減少となった。UKPの生産は8.7%減、3ヶ月連続の減少となった。

・販売は76千トン、前年比0.2%増で3ヶ月連続の増加。BKPは、輸出が低調だった前年の反動で大幅に増加したことが寄与し、前年比4.5%増で2ヶ月連続の増加。UKPは国内販売と輸出が共にマイナスとなったことが響き、9.9%減で5ヶ月ぶりの減少となった。

・在庫については147千トン、前月比20.5%減で3ヶ月連続の減少、前年比では3.0%増で11ヶ月連続の増加。BKPは前月比22.0%減で3ヶ月連続の減少、前年比では3.4%増で11ヶ月連続の増加となった。UKPは前月比12.7%減で5ヶ月連続の減少、前年比では2.4%減で4ヶ月ぶりの減少となった。

2020年11月パルプ材速報

問い合わせ先 : 原材料部(03-3248-4805~6)

(単位:千トン、%)

材種	集荷量				消費量	在庫量			
	計		国産			前年比	前年比		
	前年比	前年比	前年比	前年比		前年比	前月比	前年比	
針葉樹	306	▲ 16.2	253	▲ 9.9	53	▲ 37.1	340	▲ 8.1	
広葉樹	718	▲ 17.8	79	▲ 16.2	639	▲ 18.0	717	▲ 15.9	
計	1,023	▲ 17.3	331	▲ 11.5	692	▲ 19.9	1,057	▲ 13.5	

累計

針葉樹	3,795	▲ 13.4	2,773	▲ 8.8	1,021	▲ 23.8	3,923	▲ 9.3
広葉樹	8,123	▲ 22.7	942	▲ 13.2	7,181	▲ 23.8	8,324	▲ 18.8
計	11,918	▲ 20.0	3,715	▲ 10.0	8,202	▲ 23.8	12,247	▲ 16.0

[11月の概況]

・消費は、パルプの生産減を受け1,057千トンで前年比13.5%減、14ヶ月連続の減少。うち針葉樹は前年比8.1%減、2ヶ月ぶりの減少。広葉樹は前年比15.9%減、15ヶ月連続の減少。

・集荷は、1,023千トンで前年比17.3%減、15ヶ月連続の減少。国産・輸入別では、国産は前年比11.5%減、13ヶ月連続の減少。うち針葉樹は前年比9.9%減、14ヶ月連続の減少。広葉樹は前年比16.2%減、11ヶ月連続の減少。輸入は前年比19.9%減、15ヶ月連続の減少。うち針葉樹は前年比37.1%減、2ヶ月連続の減少。広葉樹は前年比18.0%減、15ヶ月連続の減少。

・在庫は、1,435千トンで前月比39千トン減、5ヶ月連続の減少。前年比で22.0%減。維持月数は前月横ばいの1.3ヶ月となった。

2020年10月 古紙需給統計

問合わせ先 : 原材料部 (03-3248-4805~6)

10月の概況

- 古紙の需給は、入荷は1,383千トンで2.4%減、13ヶ月連続の減少。うち新聞古紙は207千トンで12.0%減、15ヶ月連続の減少。段ボール古紙は805千トンで4.6%増、2ヶ月連続の増加となった。
消費は1,385千トンで1.7%減、21ヶ月連続の減少。紙生産が低調だったことが背景だが、中でも古紙配合率の高い新聞用紙の生産減が響いた。在庫は587千トン、前月比では0.3%減、前年比では14.7%減となった。
輸出は265千トンで1.5%減、3ヶ月ぶりの減少となった。シェア1位である中国向けが11.5%増の約125千トン、シェア2位のベトナム向けが10.6%増の67千トンとなつたが、台湾、インドネシア、タイ等のその他アジア向けが振るわなかつたことが影響した。

(単位 : 千トン、%)

品種	入荷	前年比	消費					在庫	前月比	前年比	輸出	前年比	輸入	前年比	
			前年比	紙用	前年比	板紙用	前年比								
上級古紙	138	▲ 14.5	138	▲ 9.7	111	▲ 9.6	27	▲ 10.2	99	+0.1	▲ 11.5	9	▲ 8.9	1	▲ 52.6
新聞古紙	207	▲ 12.0	206	▲ 11.0	190	▲ 10.0	16	▲ 21.0	141	+0.8	▲ 19.1	42	+40.6	0	-
雑誌古紙	190	▲ 6.1	193	▲ 4.5	34	+1.2	158	▲ 5.7	70	▲ 3.0	▲ 12.3	40	+16.6	0	-
段ボール古紙	805	+4.6	804	+3.4	1	+256.8	803	+3.3	253	+0.6	▲ 13.5	160	▲ 10.8	0	▲ 90.8
その他古紙	42	▲ 10.7	44	▲ 0.8	6	▲ 3.9	38	▲ 0.3	24	▲ 8.8	▲ 18.7	15	▲ 11.4	0	▲ 92.4
合計	1,383	▲ 2.4	1,385	▲ 1.7	342	▲ 8.6	1,042	+0.8	587	▲ 0.3	▲ 14.7	265	▲ 1.5	1	▲ 73.9

累計

上級古紙	1,365	▲ 11.0	1,380	▲ 9.4	1,122	▲ 9.3	258	▲ 9.6	—	—	—	77	▲ 25.6	15	▲ 6.3
新聞古紙	2,020	▲ 18.9	2,059	▲ 17.7	1,893	▲ 18.7	166	▲ 4.3	—	—	—	332	+4.0	1	▲ 6.4
雑誌古紙	1,881	▲ 3.0	1,898	▲ 2.3	342	▲ 6.3	1,555	▲ 1.4	—	—	—	523	+8.5	0	+214.3
段ボール古紙	7,230	▲ 2.5	7,287	▲ 1.3	2	+12.1	7,285	▲ 1.3	—	—	—	1,690	+18.4	11	▲ 35.2
その他古紙	385	▲ 10.3	391	▲ 8.2	53	▲ 20.9	339	▲ 5.9	—	—	—	150	▲ 31.4	0	▲ 70.5
合計	12,881	▲ 6.7	13,015	▲ 5.5	3,411	▲ 14.7	9,603	▲ 1.8	—	—	—	2,773	+8.6	27	▲ 22.2

(出所) 経済産業省(入荷に関しては日本製紙連合会の推計)、財務省

* 段ボール古紙輸入には茶模造も含む